

アスク《健康宣言！》地域健康づくりをサポート

○ショッピングモール アスク「地域の健康宣言！」

ショッピングセンターのコンセプトとして「アスク健康宣言」を打ち出し、町民の健康づくりをアスク専門店がサポートするという関係づくりを目指す。他の入居店舗にも「健康」をテーマとしたプログラムの作成を促し、アスク全体で顧客の健康づくりを「まち塾」を通して具現化していく。



○顧客の高齢化と周辺人口の減少への対応

アスクの周辺地域では、人口が減少し、かつ高齢化が進んでいる。商圈人口が減少することで、最寄品の顧客数も減少することは避けられない。縮小する市場のなかで、持続可能な地域経済を循環させるためには、アスクの存在が、地域住民にとっても不可欠なものであるように、より深い地域の関係を構築していくことが課題である。



○地域買物拠点としての公共的役割

アスクは、それぞれに顧客を抱えた零細事業者の集積により利便性を高める施設として役割を果たしている。地域に密着したショッピングセンターだからこそ、地域インフラとしての役割を果たすことができる。ひとつひとつの入居テナントが、顧客との関係を築きながらコミュニティを形成することによって、買物拠点としてだけでなく、町民の「健康づくり」や「生きがいつくりの場」、「コミュニティ拠点」などの多様な公共的役割を担うことが求められる。

○～健康づくりの地域サポーターとして～

周辺住民が、健康で生涯現役であれば、アスクの市場縮小を最小限に抑えることができるだけでなく、各店舗の売上向上につなげることも可能。そこで、地域のためにアスクの入居店舗が、それぞれの専門性を活かして「健康」をテーマに顧客へのサービスを提供することで、地域住民とアスクの新しい関係を築く。地域になくてはならない存在、すなわち「健康づくりのサポーター」として、新しいショッピングセンターの役割を果たしていくことが期待できる。

○行政との連携による「健康づくり」プロジェクトの始動

町民の健康づくりは、介護保険の問題を持ち出すまでもなく、行政課題でもある。アスクと行政が連携し、地区の住民がより健康に、いきいきと暮らしていくための取り組みを行っていく。具体的には、健康料理教室の継続や、お買い物時の情報提供、表示方法の検討、生涯学習の場とプログラムの共同開発など、町民の健康づくりに資するプロジェクトを総合的に行う。



○まち塾を開講する「スーパートミクル」とは

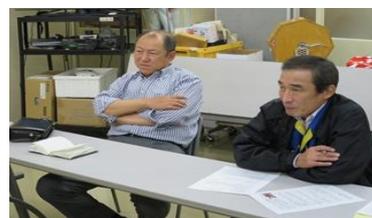
生鮮品、食料品全般から日用品までを幅広く扱うスーパーマーケット。地物契約農家の野菜、西海漁港からの朝採れ鮮魚、寺岡精肉店の精肉など、地元ならではの品揃えが魅力。経営者の寺岡氏は、能登牛のブランド化に尽力してきた寺岡畜産の代表でもあり、アスクを運営する富来町商業近代化協同組合の理事長も務める。富来の地名にちなみ、富が来る「トミクル」という店名。周辺人口の高齢化に伴い、顧客も高齢化していることから、店員一人ひとりが、より主体的に店づくりに関わり、専門性を高めながら、顧客との関係を築いている。



【トミクル店内】

○商店塾で提案する強み・魅力とは

店長や従業員も、この地域に暮らす住民であり、地域の事情を理解している生活者である。食を通じた「健康づくり」を提案するにあたって、社員が学びながら顧客に情報を提供し（今回は、糖尿病予防について、事前に社員が講師を招いて勉強会を開いた）調理方法や原材料の取り扱いに関する豊富な知識を「健康料理教室」で地域住民へ啓蒙



【打合せ風景】

○糖尿病の現状

糖尿病患者は今、世界中で爆発的に増え続けている。日本は、721万人で世界でも10番目にランクイン。糖尿病を防ぐには、食事や運動、睡眠など生活習慣を整えることが大事、とくに毎日口に入れる食事には気をつけなければならない。過食や脂肪の過剰摂取を控え、質、量ともにバランスのとれた食事をとることは、何よりも糖尿病予防になる。糖尿病はひとたび発症すると治癒することはなく、放置すると網膜症・腎症・神経障害などの合併症を引き起こす。



○店側のメリット

地域の高齢化という共通の課題に対して、糖尿病予防のメニューを提案することによって、「食」を通じて健康づくりをサポートする。毎日の「食」を通じて、いつまでも健康であり続けるために、店員と消費者という関係だけでなく、食べ方や保存方法などについて、「よき相談相手」としての関係を築くことができる。



【料理教室風景】

○住民側のメリット

健康づくりに関する情報を手軽に入手することができ、健康な献立づくりに役立てることができる。食を通じた健康づくりを習慣にすることによって、地域住民も健康に暮らすことができる。

【まち塾】：平成27年2月13日（金）11:00～13:00

楽しく作って食べて、糖尿病予防 ～食材のプロが伝える健康料理教室 ～スーパートミクル～

★【「スーパートミクル」まち塾で実施する具体的な概要】

【塾長】

「スーパートミクル」店長 藤田政広 氏



【トミクル店長：藤田政広 氏】

【塾テーマ】

楽しく作って食べて、糖尿病予防～糖尿病予防の料理教室～

- ・トミクル店長による「健康を支える食事」についてのレクチャー
- ・志賀町保健福祉センター栄養士によるキッチンスタジオ調理実習と試食会

【参加者は】

- ・近隣住民（家庭の台所を預かる主婦、健康に関心の高い高齢者）

【参加者へのメッセージは】

- ・健康な食事3原則「バランス」「材料」「楽しく」
- ・糖尿病の予防と改善のためには

【参加者に期待する次のアクションは何か】

- ・健康に配慮した毎日の献立づくり
- ・バランスのとれた食事について相談

【まち塾を実施するトミクルの効果は】

- ・健康をテーマにして、より食材への関心が高まる。
- ・店員が専門性を高めながら、お客様にアドバイスができるようになる。
- ・健康づくりのサポーターとして、お客様の良き相談相手となる。

【アスクへの効果は】

- ・「健康づくり」への取り組みが、地域への安心感
- ・地域になくてはならない存在として認識される